

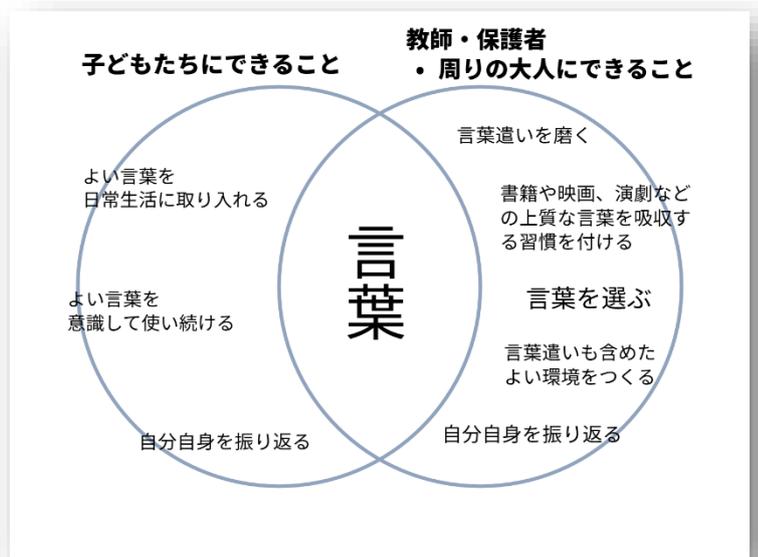
生徒指導だより

防府市立中関小学校 2025.8 第7号

8月、9月の生活目標は、「だれにでも やさしいことばを つかおう」です。言葉で人間関係はつくられます。日々、コミュニケーションをとり、生きていくために欠かすことのできないものです。言葉遣いには、その人の人となりや内面が、そのまま映し出されます。それは、対面だけでなく SNS やインターネットの世界でも同じです。

ふるまいコンサルジュの高田将代(たかだまさよ)さんの著書の中に、以下の言葉があります。

- 言葉遣いは、その人の印象を形作る重要な要素。
- 「どんな言葉を使うかは、どんな人でありたいか」なのです。
- 言葉遣いは「心遣い」
- どんな言葉を使うかで、伝わり方も変わります。
- 無頓着な言葉遣いは、そんなつもりがなくても相手に不快感を与えてしまいます。
- きちんとした言葉遣いは「自信」を与えてくれます。
- 言葉遣いが自然と人々の信頼を得ることに繋がります。



他にもありますが、ご家庭や学校ですぐにできそうなことを右上の図のようにまとめてみました。

言葉遣いは、一朝一夕では身に付きませんが、日々の積み重ねによって確実に自分のものになっていきます。

言葉は人と人をつなぐ大切なもの。美しい言葉遣いを意識することで、その人の魅力はさらに増し、周囲との関係も一層良好になるはず。チャレンジ目標「智・仁・勇」の「仁」は、「思いやりをもって、相手も自分も気持ちよい言葉を使おう」です。そのためにも、各学級で言葉について考える時間をつくりたい。望ましい言葉を増やして、安心・安全な中関小学校をめざします。

いじめ防止コーナー「言葉遣いが荒くなったら要注意」

ご家庭や学校での言葉遣いが荒くなったら要注意です。お子さんが発する何かしらのサインかもしれません。その場合はまず、「何か困っていることはないか」をしっかりと聞くようにします。その子の周りで起こっていることや背景の変化に気づくことで、いじめの早期発見や未然防止に繋がる場合があります。ご家庭で気付いたことがあればいつでも担任や学校にご相談ください。学校からも気になることがあった場合は、ご家庭に連絡することがあります。

2学期もよろしくお願いいたします。